

第9回 学生主催若手合宿研究交流会の3研究科拡張についての提案

● 概要

- これまで若手合宿は、イノベーションの礎であり生命機能研究科の理念でもある「異分野融合」を推進し、学生・若手研究者が主体となって自らの成長を促すことを目的として開催されてきた。その趣旨は、生命科学を取り込んだ融合によるイノベーションであり、HWIP の理念と広く一致する。このため、過去2回は HWIP による支援を受け、HWIP 履修生を中心とした合宿運営委員の学生たちが、情報科学研究科・基礎工学研究科との異分野融合も視野に入れた会への発展を試みてきた。しかしながら、生命機能研究科による若手合宿という枠組みの中では、実質的な研究科間の融合はなかなか難しい。本若手合宿を、「生命機能研究科」「情報科学研究科」「基礎工学研究科」が一体となって開催することができれば、研究科の壁を越えた異分野融合を促進し、HWIP の成功に大きく貢献すると考えられる。そのために、来年度より、以下のような拡張企画としての運営を提案する。

● 拡張提案の概要

- HWIP からの予算総額はそのままに、3研究科からの非履修生の参加者もサポートしたい。これにより、HWIP が盛り上がるとともに、履修生に直接的教育効果もあり、メリットは大きい。
 - ◇ 参加対象
 - 前回： 生命の学生、ポスドク、助教、および HWIP 履修生、海外学生招聘（生命の研究室で招聘）
 - 次回： HWIP3研究科の大学院生、ポスドク、助教、海外学生招聘（3研究科の研究室で招聘）
 - ◇ 予算
 - 前回： 海外学生とHWIP 履修生のサポートで上限 600 万円（海外学生招聘費用がほとんど）
 - 次回： 全参加対象へのサポートで上限 600 万円

● その他

- タイトル
 - ◇ HWIP 終了後のことなども考慮すると、継続が重要であるため、「第9回 学生主催若手合宿研究交流会（生命機能研究科・ヒューマンウェアイノベーションプログラム共催）」と、名称は継承したい。ただし、今回の試みにより3研究科拡張が成功し、HWIP 終了後も3研究科拡張のまま継続されることが望ましい（一層この傾向が進むと、なお望ましい）。
- 広報
 - ◇ 3研究科からの参加非履修生への支援が可能となった場合、参加院生を集めることも重要な課題である。これに関しては、各研究科の先生方に呼びかけ等のご協力をお願いしたいと考えている。なお合宿運営委員は、3研究科に拡張するための広報に全力を尽くすということなので、期待している。